

理事会便り

第1回(第14期)新旧合同常任理事会

日時:昭和41年6月6日(月)15.30~19.30

場所:東京管区気象台会議室

出席者:畠山, 正野, 北岡, 神山, 大田, 桜庭, 朝倉,
吉野, 小平, 須田, 岸保, 増田, 安藤各理事

(順序不同)

議決

- (1) 第14期の理事長は、畠山久尚常任理事とする。
- (2) 理事長代理は理事長の指名により北岡竜海常任理事とする。
- (3) 第14期の常任理事の任務分組は次のとおりとする
庶務:北岡竜海, 須田滝雄, 朝倉正。
会計:桜庭信一。
外国関係:小平信彦。
気象集誌:小平信彦。
天気:大田正次。
気象研究ノート:神山恵三, 根本順吉。
講演企画:吉野正敏, 根本順吉。
国際交流:三宅泰雄, 岸保勘三郎。

長期計画:吉野正敏, 神山恵三。

昭和42年度学会賞・藤原賞:正野重方。

学会連合および地球物理研究連絡:岸保勘三郎。

学術会議関係:神山恵三。

- (4) 関西支部よりの「訪中学術代表団に橋本清美会員を加える件」については、日中交友協会に橋本清美会員を推せんすることを承認する。ただし北海道および九州支部には事前にはからなかつたので、この旨了解をえること。

また会員派遣の旅費の募金依頼事項の募集などを天気に掲載することを承認する。ただし旅費の募金は、学術交流委員会において行うこと。

秋季大会の終了後、10月4日(火)に北海道支部で人工衛星のシンポジウムを開きたいとの意向があるが、これについて、天気誌上にその旨の案内を掲載することを承認する。

秋季大会は本年(41年)10月1, 2, 3日札幌において開催することを承認する。

第3回災害科学総合シンポジウム講演募集

文部省科学研究費特定研究(災害科学)の災害科学総合研究班(研究代表者 徳島大学長 理博 長谷川万吉)が中心となり、(1)災害科学に関する研究発表と討議、(2)災害科学防災科学の基本問題に関する討議の機会を提供する目的を以て、下記により総合シンポジウムを開催いたしますので、ふるって御参加下るようご案内します。

1. 期日 昭和41年11月4日(金)9.00~17.00
5日(土)9.00~17.00

2. 場所 京都大学工学部土木工学教室

3. 講演申込要項

- (1) 内容 異常気象, 雪氷災害, 河川災害, 海岸災害, 津波高潮, 地盤災害, 地震予知,

地震動災害, 火山噴火予知, 農林災害,
その他

- (2) 講演申込 締切 8月15日 講演題目, 氏名, 勤務先および講演内容の概要(400字以内)を記し, 下記宛に申込むこと。

- (3) 講演要旨の提出 締切 8月末日 所定の用紙2枚以内(図表を含む)の講演要旨を下記宛提出のこと。

用紙は請求次第送付する。

- (4) 申込先 京都市左京区吉田本町
京都大学防災研究所 災害科学総合シンポジウム係

寒帯気象(polar meteorology)

シンポジウム

上記のシンポジウムが1966年9月5~9日の間、ジュネーブのWMO本部で開催されます。このシンポジウムはWMO, SCAR(Scientific Committee for Antarctic Research), ICPM(International Commission on Polar Meteorology)およびIAMAP(International

Association of Meteorology and Atmospheric Physics)の共催になっており、出席者は100名以下に限定されています。シンポジウムの日程等はいずれ発表される予定です。

追記—

日本学術会議地球物理学研究連絡委員会(略称地物研連)気象分科会(主任正野重方外委員9名)としましては、これからの国際会議関係の記事を適宜「天気」に掲載していきたいと思っております。